

平成21年度 学校自己評価報告書

長野市立戸隠中学校

1. 学校教育目標

『己に克つ』という強い意志を持ち、粘り強く最後までやり抜く

2. めざす生徒の姿・基本目標

- ①自ら気づき、考え、進んで学ぶ人になろう
- ②豊かな心を養い、思いやりのある人になろう
- ③心身ともに健全な、逞しい人になろう

3. 今年度重点目標

○生きる力を身につけた戸隠を愛する子どもの育成をめざし、縦の接続と横の連携を図りながら、開かれた学校づくりを行う

4. 評価プロジェクト・目標達成のための具体的な取組

①「確かな学力」プロジェクト

- ・つける力を明確にした授業改善と一人一公開授業の実施。
- ・個に応じた学習指導の工夫と基礎学力補完指導の実施
- ・学び合う授業場面の設定と授業評価を生かした学習指導の確立

②「豊かな心」プロジェクト

- ・道徳「グランドデザイン」の検討及び魅力的な教材の活用
- ・考えをもとに討論する場の設定と開かれた人間関係づくりの推進
- ・体験活動を通して、自己の存在が認められる場面づくり

③「健やかな体」プロジェクト

- ・「健康食育」の年間計画作成に向けたアンケートと食育指導の実践
- ・体力テストの結果を生かした準備運動の実践と成果の検証
- ・学年の実態に即した性教育の授業実践の積み上げ

④「戸隠を愛する」プロジェクト

- ・「ふるさと学習」の推進と実践の積み上げ
- ・「地域教材」の指導計画の作成
- ・地域の活動や行事への積極的な参加および地域住民との交流

⑤「縦の連携」プロジェクト

- ・中1ギャップ対応を含めた拡大中連絡会の実施
- ・拡大教科担任者会の実施とあり方の検討
- ・小学校との相互訪問を含めた情報交換

⑥「横の連携」プロジェクト

- ・地域各校（所）の責任者との懇談および協力依頼
- ・住自協への参加と「教育部会」設置の提案

⑥「開かれた学校」プロジェクト

- ・学校運営のスリム化に向けた検討および提案
- ・学校自己評価の検討 実施及び地域への公表

5. 評価の方法

- 組織 学校自己評価委員会（校内特別委員会） 学校関係者評価委員会（校内委員 PTA代表）
- 手順
 - ・重点目標や具体的な取組を確認し、学校自己校評価についての共通理解を図る。
 - ・学校評議員、民生委員、地域の方々、保護者等の意見や感想を行事の折に集約し評価に生かす。
 - ・教職員自己評価表による評価を行う。
 - ・教職員自己評価表による評価の結果分析を行い、問題点を洗い出すとともに改善策を検討する。
 - ・学校自己評価の結果をもとに、学校関係者評価委員会で、目標の達成状況や問題点、改善策を検討する。合わせて学校評議員からもご意見をいただき改善策に生かす。
 - ・戸隠中の学校自己評価報告書を作成する。

6. 平成21年度 学校自己評価表

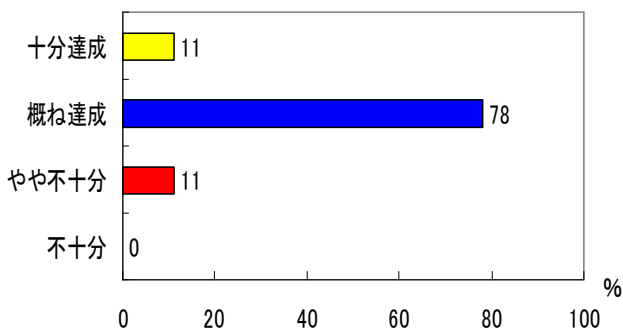
(1) 評価プロジェクト・目標達成状況 A (十分達成) B (概ね達成) C (やや不十分) D (不十分) <%>

| 評価プロジェクト | 具体目標 | 具体的な方策 | A | B | C | D | 改善策 等 |
|-------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----|----|----|----|---|
| 『生きる力』 「確かな学力」プロジェクト | ○基礎、基本を身につけ自分の考えを表現できる生徒の育成 | ・つける力を明確にした授業改善と一人一公開授業の実施。 | 11 | 78 | 11 | 0 | ・生徒の実態を踏まえた学習支援のあり方を検討し、学力向上を図る。 ・個の達成状況を明らかにし、個別支援の具体的な方策に取り組む。 |
| | | ・個に応じた学習指導の工夫と基礎学力補完指導の実施 | 0 | 67 | 33 | 0 | |
| | | ・学び合う授業場面の設定と授業評価を生かした学習指導の確立 | 0 | 56 | 44 | 0 | |
| 『生きる力』 「豊かな心」プロジェクト | ○自らの存在や自己実現の喜びを実感し、他者を思いやれる生徒の育成 | ・道徳「グランドデザイン」の検討および魅力的な教材の活用 | 0 | 33 | 67 | 0 | ・つける力を吟味し、独自のグランドデザインを作成する。 ・体験を通して、どんな力を付けていくのかを明確にし、自己肯定感が持てる活動場を設定する。 |
| | | ・考えをもとに討論する場の設定と開かれた人間関係づくりの推進 | 0 | 78 | 22 | 0 | |
| | | ・体験活動を通して、自己の存在が認められる場面づくり | 0 | 56 | 44 | 0 | |
| 『生きる力』 「健やかな体」プロジェクト | ○自らの体の成長に関心を持ち、意欲的に活動できる生徒の育成 | ・「健康食育」の年間計画作成に向けたアンケートと食育指導の実践 | 11 | 89 | 0 | 0 | ・「健康食育」という視点に立った食育指導の積み上げを図る。 ・性教育における生徒の課題を明確にし、解決に向けた具体的な実践に取り組む。 |
| | | ・体力テストの結果を生かした準備運動の実践と成果の検証 | 12 | 88 | 0 | 0 | |
| | | ・学年の実態に即した性教育の授業実践の積み上げ | 0 | 88 | 12 | 0 | |
| 「戸隠を愛する」プロジェクト | ○地域に目を向け、地域に関わり、地域に貢献できる生徒の育成 | ・「ふるさと学習」の推進と実践の積み上げ | 0 | 89 | 11 | 0 | ・戸隠で生活する生徒として学ぶべき教材は何かを精査し、指導計画を作成する。 ・地域の活動のバンク化を図り、参加を呼びかける。 |
| | | ・「地域教材」の指導計画の作成 | 0 | 55 | 44 | 0 | |
| | | ・地域の活動や行事への積極的な参加及び地域住民との交流 | 0 | 89 | 11 | 0 | |
| 「縦の接続」プロジェクト | ○保・小・中・(高)が連携し、共通理解に立った生徒指導の展開 | ・中1ギャップ対応を含めた拡大小中連絡会の実施 | 0 | 89 | 11 | 0 | ・固定化集団での人間関係づくりや、個に対する支援の共有化を図る。 ・小中相互の授業参観を行い、情報の共有化を進める。 |
| | | ・拡大教科担任者会の実施とあり方の検討 | 0 | 78 | 22 | 0 | |
| | | ・小学校との相互訪問を含めた情報交換 | 0 | 33 | 67 | 0 | |
| 「横の連携」プロジェクト | ○住民自治協における部会の立ち上げと今後の活動について検討 | ・地域各校(所)の責任者との懇談および協力依頼 | 0 | 78 | 22 | 0 | ・住民自治協議会の青少年育成委員会において地域への提案を含めた連携体制の整備を図る。 |
| | | ・住自協への参加と「教育部会」設置の提案 | 0 | 78 | 22 | 0 | |
| 「開かれた学校」プロジェクト | ○校務の見直しと地域の声が生かせる学校づくりの推進 | ・学校運営のスリム化に向けた検討および提案 | 11 | 78 | 11 | 0 | ・年度途中で指導の改善が図れる学校自己評価に改編する。 |
| | | ・学校自己評価の検討 実施および地域への公表 | 0 | 78 | 11 | 11 | |

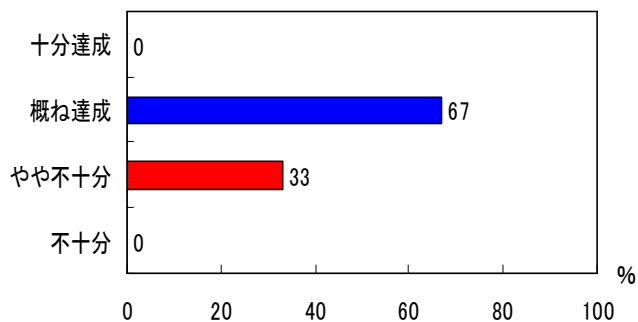
7. 学校自己評価結果の分析と改善の方向

(1) 「確かな学力」プロジェクト

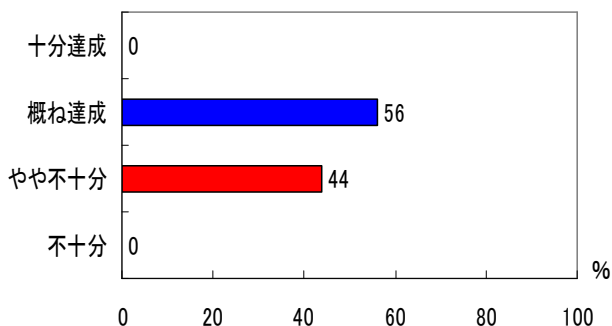
つける力を明確にした授業改善と一人一公開授業の実施



個に応じた学習指導の工夫と基礎学力補完指導の実施



学び合う授業場面の設定と授業評価を生かした学習指導の確立



① 分析と考察

- ・「個に応じた学習指導の工夫と基礎学力補完指導の実施」については、やや不十分という回答が33%あり、個に応じた学習指導が十分でないことがうかがえる。
- ・「学び合う授業場面の設定と授業評価を生かした学習指導の確立」においても、44%がやや不十分であると回答しており、授業評価を生かした学習指導という面で課題が残った。

② 次年度に向けた改善策

○個の達成状況を明らかにし、個別支援の具体的な方策に取り組む。

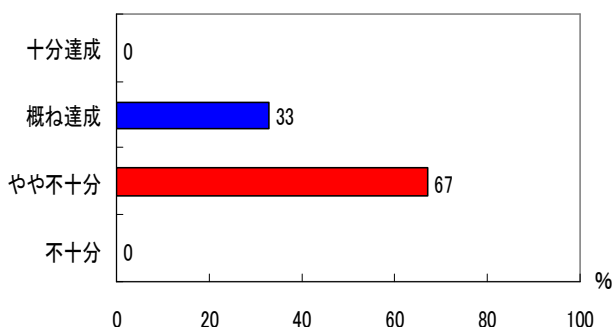
- ・学習カードによる実態把握
- ・定期テスト前の学習支援の継続
- ・個に応じた補完指導の充実
- ・反復ドリル学習の充実

○生徒の実態を踏まえた学習支援のあり方を検討し、学力向上を図る。

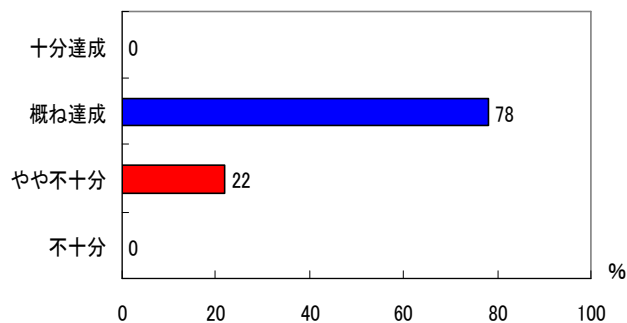
- ・授業充実のための3観点の励行
- ・評価規準の具体化（生徒の姿で）とPDCAサイクルによる検証
- ・普段の授業の相互参観（含 1人1公開授業）
- ・NRTの結果に基づく授業改善と補完指導

(2) 「豊かな心」プロジェクト

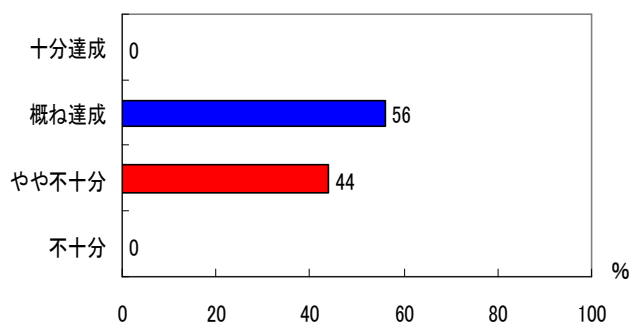
道徳「グランドデザイン」の検討および魅力的な教材の活用



考えをもとに討論する場の設定と開かれた人間関係づくりの推進



体験活動を通して、自己の存在が認められる場面づくり



① 分析と考察

- ・『道徳「グランドデザイン」の検討および魅力的な教材の活用』については、67%がやや不十分と回答しており、改善すべき課題である。
- ・「体験活動を通して、自己の存在が認められる場面づくり」についても、やや不十分とする回答が44%あり、人間関係づくりの推進とともに自己肯定感を持たせるための指導が必要である。

② 次年度に向けた改善策

○つける力を吟味し、独自のグランドデザインを作成する。

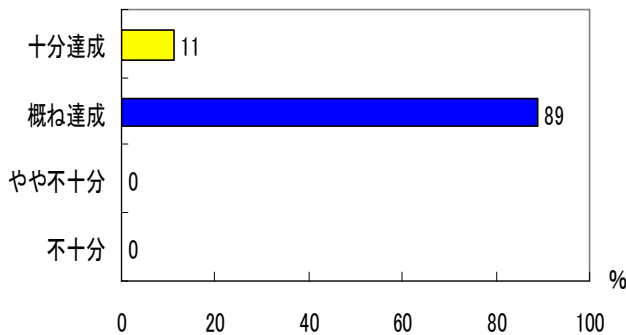
- ・ 道徳性の4視点の内容項目の吟味
- ・ 4視点の2（他の人とのかかわりに関すること）の指導強化
- ・ 地域の実情や生徒の実態に即したグランドデザインの作成
- ・ 学年間のカリキュラム連携

○体験を通して、どんな力を付けていくのかを明確にし、自己肯定感が持てる活動場面を設定する。

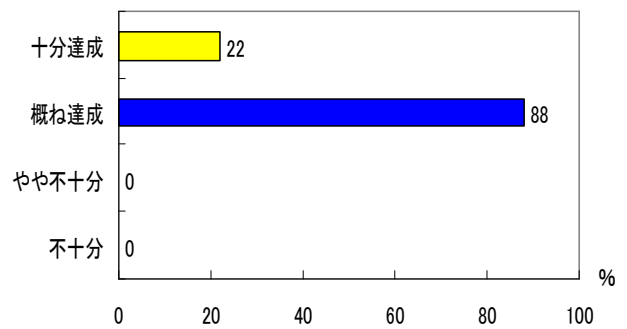
- ・ 体験における役割と責任の明確化
- ・ 人との関わりに視点を置いた体験活動の創出
- ・ 学級や学校の一員としての自覚化
- ・ 学校教育目標「己れに克つ」への意識と育てる場の設定

(3) 「健やかな体」プロジェクト

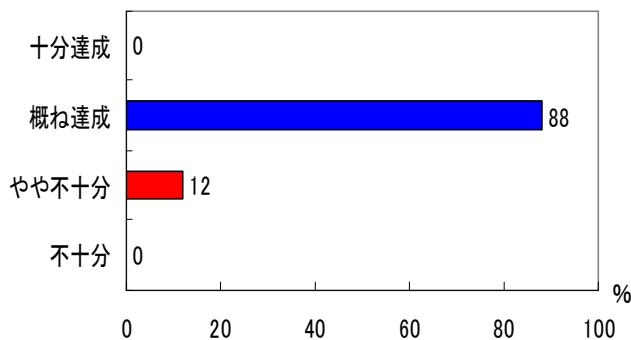
「健康食育」の年間計画作成に向けたアンケートと食育指導の実



体力テストの結果を生かした準備運動の実践と成果の検証



学年の実態に即した性教育の授業実践の積み上げ



① 分析と考察

- ・ 具体的な方策のどの項目も概ね達成できている。
『学年の実態に即した性教育の授業実践の積み上げ』については、小学校とも連携を密にし、新入生の実態を踏まえた展開を早期に計画する。
- ・ 健康食育の年間指導計画の作成については、計画的に進めているが、できるところは前倒して実践する。
- ・ 体力テストの分析をもとに本校生徒の課題を決めだし運動場面で補強運動として取り入れていく。

② 次年度に向けた改善策

○「健康食育」という視点に立った食育指導の積み上げを図る。

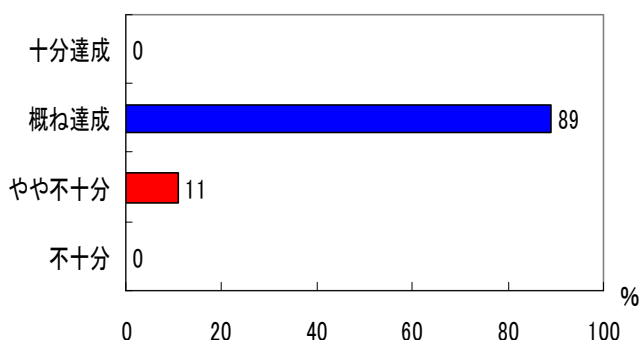
- ・ 教科、領域への取り組みの振り分け
- ・ 食に関する家庭との連携
- ・ 地産地消の推進

○性教育における生徒の課題を明確にし、解決に向けた具体的な実践に取り組む。

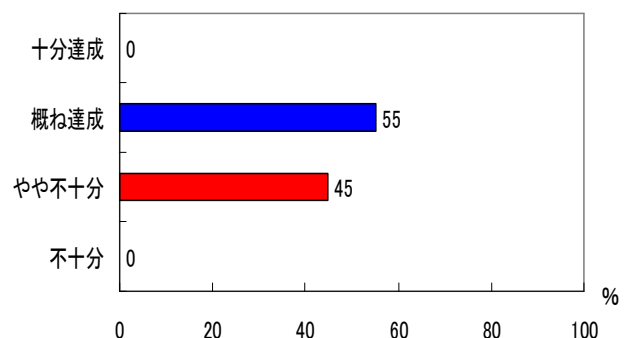
- ・ 各学年の生徒の実態の洗い直し
- ・ つけたい力を明確にした授業展開
- ・ 小学校とのカリキュラム連携
- ・ 携帯やインターネット問題における生徒指導係との連携

(4) 「戸隠を愛する」プロジェクト

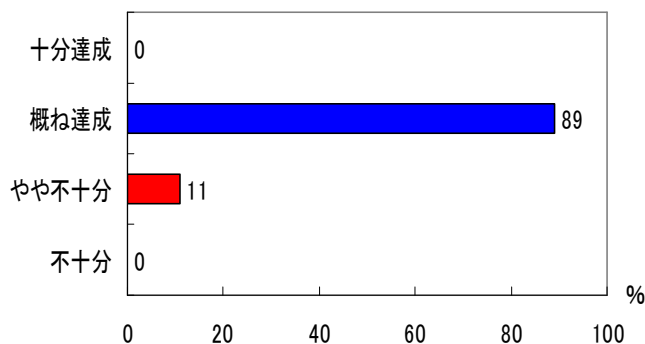
「ふるさと学習」の推進と実践の積み上げ



「地域教材」の指導計画の作成



地域の活動や行事への積極的な参加および地域住民との交流



① 分析と考察

- ・『「地域教材」の指導計画の作成』については、やや不十分という回答が45%あり、教材化がやや停滞している感がある。
- ・『「ふるさと学習」の推進と実践の積み上げ』と『地域の活動や行事への積極的な参加および地域住民との交流』については、計画に即して取り組めた。
- ・地区の行事に好意的に参加する生徒が増え、地域への関心も少しずつ高まってきている。

② 次年度に向けた改善策

○戸隠で生活する生徒として学ぶべき教材は何かを精査し、指導計画を作成する。

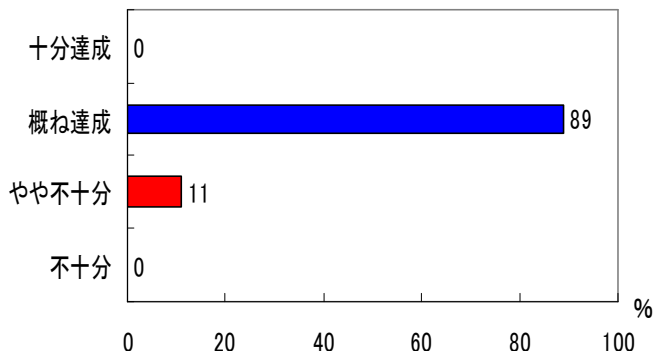
- ・生徒の「ふるさと学習」を基盤にすえた素材の教材化
- ・地域の諸団体との連携による授業開発
- ・地域にある教材の掘り起こし
- ・学習の成果の地域発信

○地域の活動のバンク化を図り、参加を呼びかける。

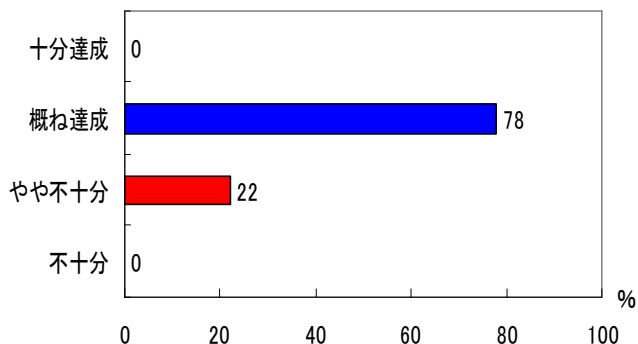
- ・異年齢集団との交流
- ・奉仕活動や勤労体験の推進
- ・地域行事の紹介と参加の呼びかけ

(5) 「縦の接続」プロジェクト

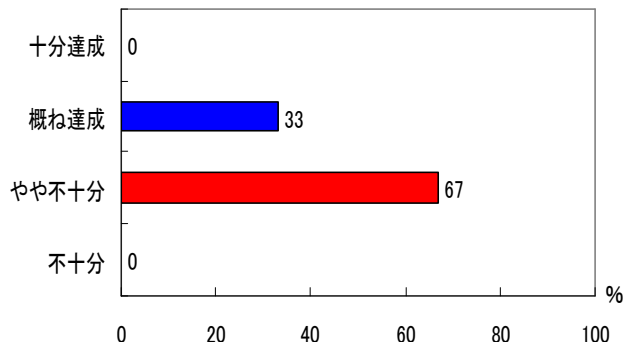
中1ギャップ対応を含めた拡大小中連絡会の実施



拡大教科担任者会の実施とあり方の検討



小学校との相互訪問を含めた情報交換



① 分析と考察

- ・『小学校との相互訪問を含めた情報交換』については、67%がやや不十分と回答しており、相互訪問と情報の共有化という点で課題が残った。
- ・小学校での出前授業や小学校の先生方の中学での授業参観も計画したい。
- ・『中1ギャップ対応を含めた拡大小中連絡会の実施』については、今年度より実施。内容の充実を図っていきたい。

② 次年度に向けた改善策

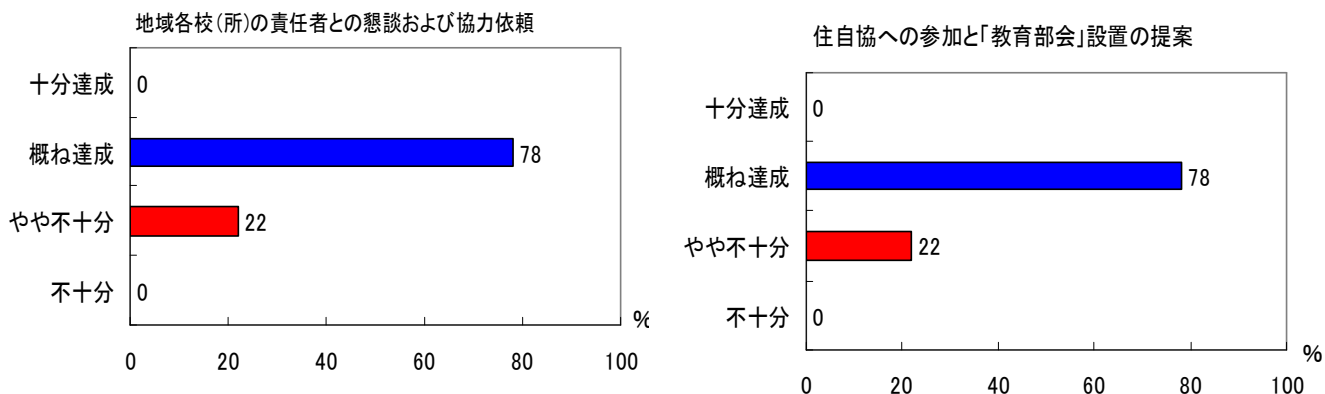
○固定化集団での人間関係づくりや、個に対する支援の共有化を図る。

- ・人間関係づくりのエンカウンターへの推進
- ・相談体制の充実
- ・個別の支援計画の立案
- ・個別の支援計画に基づく支援会議の開催

○小中相互の授業参観を行い、情報の共有化を進める。

- ・小中の相互参観の実施
- ・拡大小中連絡会の充実
- ・新入生説明会や体験入学の検討実施

(6) 「横の連携」プロジェクト



① 分析と考察

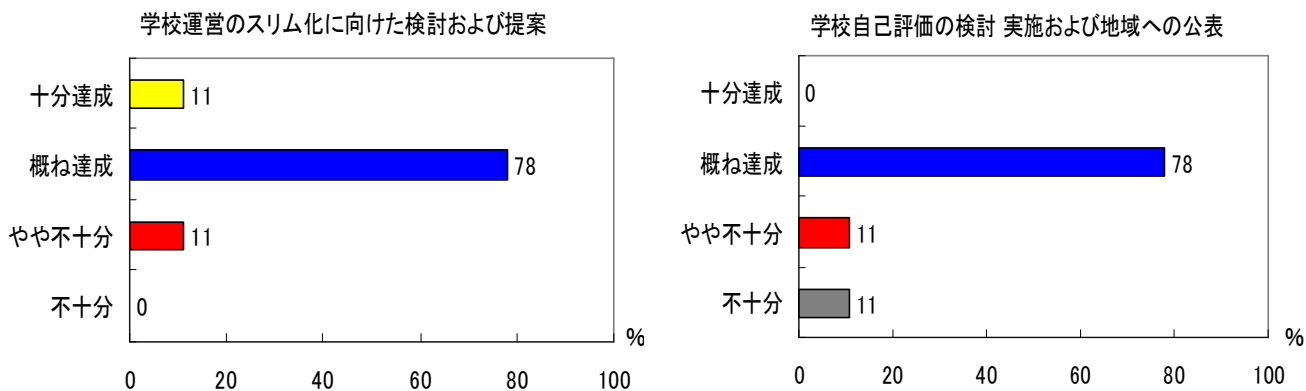
- ・『地域各校(所)の責任者との懇談および協力依頼』はほぼ終了した。細かな詰めでは残っているものの、概ね達成できている。
- ・『住自協への参加と「教育部会」設置の提案』については戸隠住民自治協議会「教育・文化部会」の中に「青少年育成委員会」を立ち上げることができた。来年度のスタートに向けて連絡調整中である。

② 次年度に向けた改善策

○住民自治協議会を基盤とする「青少年育成委員会」において地域への提案を含めた連携体制の整備を図る。

- ・ 将来の戸隠地区を担うという視点での子どもの育成
- ・ 「戸隠教育」の原案づくり
- ・ 地域コーディネーター及び顧問の選出
- ・ 地域と学校の相互発信に向けた基盤づくり

(7) 「開かれた学校」プロジェクト



① 分析と考察

- ・『学校自己評価の検討 実施および地域への公表』については、不十分またはやや不十分という回答が22%あり、評価のあり方には検討の余地がある。
- ・『学校運営のスリム化に向けた検討および提案』については、概ね達成できている。さらに、効率よく学校運営が推進できるよう検討したい。

② 次年度に向けた改善策

○年度途中で指導の改善が図れる学校自己評価に改編する。

- ・ 今年度の課題を受けての重点目標と具体目標の設定
- ・ 中間評価の実施と公表
- ・ 学校自己評価におけるPDCAサイクルの構築
- ・ 年間報告書の内容検討